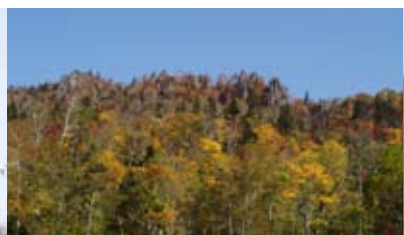




雄大なオホーツクの海に抱かれて、
優しくさわやかな潮風を浴びる。
ふと目を閉じると、
大地にしっかりと根をはった
小さな若葉たちの声が聞こえてくる。
ゆったりと流れる
何気ないふるさとの風景に
心が優しく温かくなるのを感じる。
そう、これこそが海と大地のいい関係。
雄武町の原点・・・。

海と大地のいい関係





鮮

やかなコバルトブルーのオホーツク海は、今も昔も変わらぬ美しい姿でわたしたちの暮らしを見守り続けています。またその存在は、見る者すべてが懐かしさを感じるように、町民の心の拠りどころとして、長きにわたり慕われ続けています。

オホーツク海を覆い尽くす流水。神秘的な姿とともに豊富な栄養分を運んできます。

太古のころから
人はいつでも

海には希望が見える
鼓動の高鳴りを感じながら

季節によってその姿を変えるオホーツク海。コバルトブルーから白銀の神秘的な姿へと変える冬の使者「流水」。大海原を覆い尽くすほどの流水は、はるか遠くシベリアの大河アムール川の真水によってできた流水が約千キロメートルの旅を経て、オホーツク海沿岸へと辿り着きます。流水は神秘的な姿だけでなく、多くの栄養分をもたらし、オホーツク海は世界でも有数の漁業資源の宝庫となります。流水が去った後には、海明けと呼ばれる漁の開始。待ちわびた海の男たちは果てしなく広がる大海原へと乗り出し、毛ガニやホタテ、ウニ、サケなどが次々と水揚げされ、浜は活気に包まれます。新鮮で美味しい海の幸が、季節ごとにわたしたちの食卓を彩ります。

オホーツク海の流水が去り漁が解禁になると、待ちわびた海の男たちは大海原へと船を進めます。

海岸

から南西に伸びる大地には、緑輝く牧草地が

一面に広がり、海岸線を沿うように走る国道からはオホーツク海をバックにのどかに草を食む牛の姿を眺めることができます。その背後には原生林が残る秘境ビヤシリ山をはじめとする600～900メートルの山系が連なり、それらを縫うかのように大小の河川がオホーツク海へと流れ込んでいます。春先には、西南西の強風である雄武町特有の風「日向（ひかた）風」が春の訪れを知らせる風物詩ともなっています。

山々がくれる

幾多の恵み

人々の想いは大地に根付き
生命も彩る

春の訪れとともに新緑が芽生え、海岸沿いにはハマナスが真っ赤な花を咲かせ、オホーツクの海の色と絶妙な調和を見せてくれます。山々の木々が赤や黄色に色づき始める季節になると、朝晩の寒暖の差も激しくなり、やがて一面の雪に覆われ辺り一面が雪化粧で彩られます。四季折々の顔を見せる雄武町。いつもそこにあるふるさとの風景は、これからも変わることなくこのまちに暮らすすべての人たちに、愛され続けていくことでしょう。

寒冷な気象と重粘土質の土壌という厳しい条件の中、酪農を中心とした農業が営まれています。





豊

かな自然を満喫する
観光スポットが満載
の雄武町。一番の観光
スポット「日の出岬」
は、その名の通り日の出が美しく
見える場所として有名。岬の突端に
ある総ガラス張りの展望台「ラ・ルー
ナ」から見る神秘的な日の出は絶景。
夜にはライトアップされ、明々とオ
ホーツク海を照らしてくれます。ま
た、アウトドアが楽しめる海浜公園
やキャンプ場なども整備しており、
夏には多くの家族連れで賑わって
います。

露天風呂から眺める絶景は 一見の価値あり

旅の疲れを癒やすには何といつても温泉です。天然温泉を有する「オホーツク温泉ホテル日の出岬」は、人にやさしいをコンセプトに、特殊浴場や介護ベッド付きの洋室などを備えており、バリアフリーフロアではゆったりとしたスペースを確保。車イスでの滞在も快適に過ごすことができます。また、大浴場や客室からは、オホーツク海に昇る朝日や真っ白に覆い尽くすほどの流水を眺めることができ、雄大な自然の前に見る者すべての心と体を癒やしてくれます。

オ

市街中心部にあり、空中に船が浮いているような外観の道の駅「おうむ」。
ビルの七階に相当する高さに展望室があり、雄武市街とオホーツク海を一望することができます。
市街から車で40分ほどの深い山中にある「神門の滝」は真夏の清涼スポット。静寂の中、風雪に耐えた木々の間から流れ出る滝の轟音と、約30メートルの高さから豪快に打ちつける白い滝しぶきは迫力満点です。
かつては電力供給を行っていた「幌内ダム」は今では役目を終え、風光明媚な観光スポットとして注目の場所。水面に天塩山系を映し出すダム湖には、陽射しを反射して眩しい光の矢を放ち、キラキラと輝いています。紅葉の季節には、ダム湖の青と木々の赤や黄色が織り成す幻想的な世界が繰り広げられます。

右…まさに船を空に浮かべたような展望室のある「道の駅 おうむ」

左…役目を終えたダム周辺には青々とした森林が広がっています。

上右…オホーツク海に柱のように浮かび上がる朝日。

上左…木々の間から流れ落ちる滝は、まさに自然の造形美。

下右…手付かずの自然が残る秘境「ビヤシリ湿原」

下中…オホーツク海を一望できる展望台「ラ・ルーナ」



雄武の特産品

食の宝庫「雄武町」は
豊かな自然が育んだ
海の幸・山の幸が盛りだくさん。
新鮮な旬の味覚に舌鼓を打てば
それは贅沢の極み。
自然が織りなす
雄武ブランドを一挙公開。



熱気

が笑顔が弾けとぶ、活気に満ちたまつり。雄武町では、海と山の幸を中心としたイベントが盛りだくさんです。

毛ガニまつり

雄武産の重量感たっぷりの美味しい毛ガニを格安で手に入れることができる絶好の機会。会場では毛ガニの販売だけではなく、大鍋で煮込んだ具だくさんのカニ汁や、子どもたちが参加できる「毛ガニの釣り堀」などのアトラクションも大人気。遠方から毛ガニを求めて多くの方々が来町しています。

産業観光まつり

わがまち自慢の選りすぐりの海の幸や山の幸が格安で販売される、雄武町最大のイベント。まつりを盛り上げるアトラクションも充実しており、前夜には夜空を彩る大輪の花火大会を開催。特設ステージでは吹奏楽や太鼓の演奏、YOSAKOIソーラン、最後には雄武町の特産品が当たる大抽選会なども行われ、盛りだくさんの内容で雄武の魅力を存分に味わえる夏のビッグイベントです。



オホーツクサイクリング

雄武町から斜里町まで212キロメートルのオホーツクラインを、二日間かけて自転車で走破する一大イベント。雄武町はその出発地点となっており、カラフルなウェアを着た千人のサイクリストが沿道の人たちからの声援を受けながら、オホーツクのさわやかな風を受けながら真夏のオホーツクロードを走り抜きます。

「雄武の宝」うまいもんまつり

食欲の秋に開催する雄武町の農業・水産業・商業の連携による新たなイベント。オホーツクの海から獲れた新鮮な魚介類や、広大な土地で育てられた乳牛や肉牛製品、ダツタンそばコロッケなど、雄武の宝である「うまいもん」が勢揃い。「見て・触って・味わって」もらうことをコンセプトに、雄武で食べられる極上の品々をおなかいっぱい堪能することが出来ます。また、この「雄武の宝」を用いた各種アトラクションも行われるなど、うまいもんづくしのイベントです。

右…オホーツクの大自然を間近に感じることのできる「オホーツクサイクリング」
左…サケのつかみ取りが人気の「うまいもんまつり」

